

メダルをもらおうぞ！

一宮西部小・2 伊藤 さくら

わたしは、ほいくえんの年中の二月から、体そう教しつにかよっています。お友だちのつきちゃんといっしょに見学しに行ったら、大きなランポリンに二人とも大こうふんで、

「やりたい！」

「わたしもやる！」

と、二人いっしょにならないはじめたとママから聞きました。

わたしは、てつぼうの時のじゅんびうんどで、先生がてつぼうの高さをどんどん上げていってくれたり、十びょう間で何回回れるのかちようせんしたりするのが、楽しくて大すきです。どんどんむずかしくなっていくって、できるのかどうかははらしたり、できた時に、先生が、

「すごいね！おめでとう！」

と言ってくれるのが、とてもうれしいです。

休み時間には、みんなランポリンをとんだり、ものさがしゲームをしたりしてあそびます。その時間もとつても楽しくて、毎週体そうに行くのが楽しみでしかたないです。

でも、体そうをやめたいと思ったことも、なんどもあります。わたしは、おこられるのがとてもにが手なので、わががうまくできなくて、先生に、

「おーい！もつとがんばれよ！」

とおこられると、すぐなみだが出てしまいます。

てつぼうの「空中前回り」というわがが、どうしてもこわくて、なかなか力が入れられず、毎回先生におこられていた時は、やめたくてしかたがなかったです。

体そう教しつからの帰り道に、ママに

「もう、やめたい。やめてもいい？」

と毎回聞いていたけれど、ママは、

「できないからやめるっていうのはいやだから、何か合かくできるまでがんばってみたら？」

と言って、やめさせてくれませんでした。

さいしよは、こわくてれんしゅうするのもしやだったけれど、ずっとこわいままではいやだなと思って、家でも毎日てつぼうのれんしゅうをしました。そしたら、できるようになって、先生に合かくをもらって、本当にうれしかったです。れんしゅうをがんばってよかったなと思いました。

あと二つ合かくすると、メダルがもらえるので、つぎは、メダルをもらうのを目ひようにがんばりたいです。

今は、やめたいと思うことはなくなつて、体そうが楽しくてしかたがないです。うまくできなくて、なみだが出ちやう時もあるけれど、わたしには、いつもそばにいて、

「だいじようぶ？元気出して！」

と、はげましてくれるお友だちがいます。赤ちゃんの時から、ずっといっしょで大すきなお友だちです。そのお友だちがメダルをもらったので、わたしも早くもらいたい！という思いがもつとつよくなりました。

これからも、そんなすてきなお友だちといっしょにがんばって
きたいです。